



乳幼児健診のお手伝いをする葛高生（右）

赤ちゃんは柔らかいね 体験学習で葛高生実感

乳幼児とのかかわり方や命の大切さを学んでほしいと8月5日、保健センターで思春期体験学習が行われました。

参加したのは看護師や保健師などをめざす葛高生4人。赤ちゃんの特徴や接し方など保健師から説明を受けた後、実際に乳幼児健診や赤ちゃんの抱っこを体験しました。

山本滯奈さん（葛巻高3年）は「どのお母さんも優しい表情で赤ちゃんに接していて、本当に大切にされているんだなと感じました。赤ちゃんって柔らかいね」と感激。また、菅野麻樹子さん（同）は「この体験で、これまでは漠然としていた町の医療に貢献したいという気持ちが固まりました」と、将来の目標もしっかり決まった体験となりました。



花やお盆用品などを買求める人たちににぎわうふれあい市

お盆の支度はお任せを 青空ふれあい市大繁盛

お盆前の8月12日、JA新しいわて女性部葛巻中央支部の青空ふれあい市が同支所前で開かれました。

会場には、会員らが丹精込めて育てた切り花や朝収穫されたばかりの新鮮な野菜がズラリ。開店前からお盆支度にと商品を求める人たちににぎわいました。

市には地元で収穫されたもののほか、JA管内の海産物なども登場。「合併の効果。こちらの野菜などを沿岸部にも提供していますよ」とたちまち売り切れるほどの大盛況ぶりに前原頼子女性部長はほくほく顔でした。

スポーツはこころだね プロOBを迎えて教室

町体育協会創立50周年記念事業「浦和レッドダイヤモンズ・ハートフルサッカースクール」は8月23日、町総合運動公園で開かれました。

サッカーに興味のある子どもやスポーツ少年団など町内と近隣市町村の小学生ら約100人が、4人のJリーグ浦和レッズOBからサッカーの楽しさを学びました。

低学年は対戦相手と握手を交わすなど心のふれあいを、高学年は技術や体の使い方などを中心に指導を受け、会場には元Jリーガーの巧みな話術のもとにぎやかな歓声が響き渡りました。参加した丸山智大君（葛巻小3年）は「とっても楽しかった!」と、元気に話しました。

この教室は、岩手県の「希望王国いわて文化大使」でもあり、本町に企業の森を開設している榊島建設の佐藤善之社長の紹介で実現しました。



笑顔の交流いきいきと お達者さんが全員集合

本年度の第1回「おたっしゃの会」は7月30日、町総合センターで開かれました。

高齢者の皆さん約100人が、保健師と一緒に手先や体を動かすなどして心と体をほぐし、慣れない指の動きなどを取り入れたゲームなどでは苦戦の表情があちらこちらに見られ、会場いっぱい笑顔の輪が広がりました。

民生委員やボランティアの皆さんが真心込めた手作りのお弁当に舌鼓を打ちながら、カラオケや踊りも飛び出しました。参加した向川原ツヤさん（橋場）は「普段は一人で暮らしています。年2回のこの会に参加して、みんなから元気もらっています」と、早くも次回の開催に期待しました。



久しぶりに顔を合わせる人たちとゲームなどを楽しんだ「おたっしゃの会」



秋葉神社の鳥居の柱から現れたのは、「元気が出るキノコ」です」と近くに住む角口ミツさんも初めて出現した珍現象にびっくり。ちよつとひょうきんな何かの顔にも似ているよつな…

あくら たまげた

垂柳の久保トミさんが収穫したキユウリは仲良しの双子と、ひとつの房から3本が生まれた何とも珍しいもの。「3本は初めて」と驚き顔の久保さんです。



多くの人々が参加して行われた交通安全全国キャラバン隊のメッセージ伝達式

世界一事故のない町へ 全国キャラバン隊来町

交通安全啓もう全国キャラバン隊は8月26日、本町を訪れ、地域の交通安全対策を呼び掛けました。

役場前で葛巻幼稚園と葛巻保育園児、交通安全母の会の皆さんや交通安全にかかわる人ら約150人がキャラバン隊を出迎えました。「世界一事故のない町を」と野田聖子内閣府特命担当大臣交通対策本部長のメッセージが鈴木重男町長に手渡され、参加者らは「交通安全は家庭から」と誓いを新たにしました。